

秀吉に「家康が和議申し出」

小牧・長久手の戦い 通説は「家康が勝利」



龍野城下の旧龍野藩士宅から見つかった羽柴秀吉からの朱印状。たつの市龍野町上霞城

たつの市教育委員会は4日、同市内の旧家から、羽柴（豊臣）秀吉が配下の脇坂安治に宛てた朱印状2点が新たに発見されたと発表した。秀吉が徳川家康と相対した「小牧・長久手の戦い」の最中に送られたもので、「家康から和議を申し込まれた」との記述がある。新たな朱印状は今年5

近年の「秀吉優勢」研究 補強する内容

月、龍野城下の旧藩士の家系宅から見つかった。額に飾られ、龍野神社宮司から譲り受けた証明書も同封されていたという。市内ではこれまでも秀吉からの朱印状が見つかったという。市教委によると、今回の朱印状は本能寺の変から2年後の1584（天正12）年のものとされる。安治は当時、織田信長の次男で、秀吉と敵対していた信雄側の伊賀上野城を攻めていた。周辺の山城を増強するため、大量の木材調達を秀吉から命じられていた。1通目は4月21日に送られたもので、長久手の戦いで秀吉方の池田恒興、森長可が討ち死にし、状況を案じる安治が秀吉に送った陣中見舞いへの返書とみられる。文中で秀吉は「池田と森の討死があったが、陣地を固めているので心配するな」と余裕を見せ、「伊賀の材木は河端まで出しておけ」などと命じている。2通目は9月6日付で、戦局が秀吉側に傾いている様子を伝えている。秀吉は「小牧の西へ押し廻り、国中に放火し、砦を数カ所作らせ、さらに戦おうと思っていたところ、信雄・家康から『人質を出すので』と和議が申し込まれた」と記述。同意しないでいたところ、石川数正ら家臣勢まで人質に出すと言ってきたというとも記している。龍野歴史文化資料館の宮義哲館長は「後に家康が天下人となったことで、劣勢だったという情報に塗り替えられた可能性もある」と分析する。「近年は秀吉が優勢だったという研究も盛んで、朱印状はそうした戦局を裏付ける上で貴重な資料となる」と話した。2点の朱印状は10月24日に同館で始まる企画展で一般公開される。

（西竹唯太郎）

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

上の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

- 1 本能寺の変が起こったのは、何年ですか。
- 2 小牧・長久手の戦いについて、次の説明文の（ ）にあてはまる数字・語句を本文中から抜き出して書きましょう。

小牧・長久手の戦いは、本能寺の変で討たれた①の後継者をめぐる戦いで、②年に今の③県の小牧・長久手で④軍と織田信雄・⑤軍が戦った大規模な合戦である。

これまで⑤が勝利したというのが通説だったが、最近では④が優勢だったという研究も盛んで、今回、兵庫県⑥市で発見された④から⑦への書状2点は、研究の貴重な資料となるものである。

⑦は④に仕えて「⑧」の一人として勇名をはせた武将で、その子孫はのちに⑨藩の藩主となった。

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	

NIEワークシートのこたえ（2026年8月10日公開）

◆ワークシート

「秀吉に『家康が和議申し出』（社会）」
2026.8.5付 朝刊 20面 解答

1 1582年（天正10年）

2 ① 織田信長 ② 1584 (天正12) ③ 愛知
④ 羽柴秀吉 (豊臣秀吉) ⑤ 徳川家康 ⑥ たつの
⑦ 脇坂安治 ⑧ 賤ヶ岳七本槍 ⑨ 龍野

すてっぷあっぷ

★わたしからのひとこと！（記事を読んだの感想や意見を1行で書いてみましょう。）

--

★100字シート (□にチェック) □記事の要約 □記事に対する感想・意見

[illegible]